

平成 27 年度 第 4 回湖西市男女共同参画審議会

会議録

記録者 市民協働課 吉田

- ▶ 日 時: 平成 28 年 3 月 24 日(木) 10 時 00 分～11 時 00 分
- ▶ 場 所: 湖西市民活動センター 2 階 大会議室
- ▶ 出 席 者
委 員: 池田恵子、山下美恵子、荒井千鶴子、伊藤小夜子、末吉由佳、原道也、五味道隆
事 務 局: 企画部長、市民協働課 (課長、課長代理、主任)
そ の 他: (株)サーベイリサーチセンター 静岡事務所 田原
(次期湖西市男女共同参画プラン策定業務委託業者)
- ▶ 資 料: 次第、第 3 次湖西市男女共同参画推進計画案【資料 1】

▶次第

1. 開会
2. 企画部長あいさつ
3. 協議事項
(1) 第 3 次湖西市男女共同参画推進計画最終案について (事務局より)
4. 閉 会

1. 開会

2. 企画部長挨拶

3. 協議事項

(1) 第 3 次湖西市男女共同参画推進計画最終案について (事務局より)

【資料 1 参照】 ※変更点の確認等

◆審議会委員の意見

〈基本目標 2 男女間のあらゆる暴力の根絶〉

目標指数について

委 員: 半減というイメージ的に「多少はいい」というメッセージとして伝わってしまうように感じます。

委 員: 目標値は「0」と書いて、5年後に半減だから再度「0」と書いて「0」を目指す形で、目標は「0」を書き続けるべきだと思います。

会 長: 文章中で長期的には0を目指していく、容認できるものではないという旨を示すべきだと思います。

〈基本目標6 男女の生涯にわたる心身の健康への配慮〉

がん検診の受診率を指標とすることについて

委員： 市のがん検診の受診率しか反映されないので、他機関での受診者が反映されていないと思います。申告制でそのような人も受診者に入れてもよいのでは。

事務局： 申告制では申告したかしないかで指標もぶれてしまうので、このような指標の設定となっています。

会長： この指標を使っている自治体はすごく多いと思うが、他の自治体はこのような疑問にどう対応しているのでしょうか。

業者： 本当は市全体の受診率を見たいが、現状は把握が不可能ということで、その代替指標であることを前提として設定しています。

会長： 今回は代替指標として設定して、次期計画作成時などにもう少しジェンダーとの関係性が分かるような指標の設定を考える必要があると思います。

リプロダクティブヘルス／ライツの考え方の認知度の指標について

委員： ワーク・ライフ・バランスの認知度を聞く指標を削除し、リプロダクティブヘルス／ライツの認知度を聞く指標を残した意図は。

事務局： 意識調査で計る指標の設定数を全体で調整した中で、ワーク・ライフ・バランスは言葉こそ違いながら様々な取組みがされているので、言葉については前5年間で啓発を行ってきたので、具体的施策では意識啓発に取り組むが指標としては削除しました。

会長： ワーク・ライフ・バランスの認知度の調査は意識調査で続けていただきたいと思います。リプロダクティブヘルス／ライツの認知度をあえて設定しているのは、他の指標設定が難しいことに加え、このような発想・考え方が、誤解なく正しい解釈で広がってほしいという思いもあって設定していると思います。

※計画書基本目標2文章中に、根絶に向けて取り組む1文を追記した上で、計画案を承認。

5. 閉会